

2019年4月18日 発行

1

## ユネスコ主催 “SDGs Youth Forum” において VE 手法を活用

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟（以下、日ユ）は、SDGs（持続可能な開発目標）の『誰も置き去りにしない平和な社会の実現』に向けた取り組みを行っています。その取り組みの一環として、2019年3月26日～29日、「SDGs Youth Forum」（以下、フォーラム）が東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催されました。



日頃からSDGsに向けて活動している高校生が、日本・中国・韓国7つの高校から一堂に会し、学校別にお互いの取り組みを紹介し合い、講演やフィールドワーク等の様々なインプットやネットワーキングを経て、自分たちの達成すべき目標とその目標達成に向けた実効性のある行動計画を策定する4日間のイベントです。

当会はこのフォーラムの趣旨に賛同し、高校での取り組みへの本質的な理解を深め、その上でより良い活動へ展開するための各校の目標設定のプロセスにおいて、VE的思考である機能分析が有効であることを提案しました。そこで、フォーラムでファシリテーター役を務めるボランティアの大学生にVE的思考をベースとしたファシリテーションのワークショップを実施し、各学校のSDGs行動計画の企画立案の過程でVE思考を活用しながら進めていただきました。

関連 URL : <https://www.sjve.org/15994>

2019年4月18日 発行

フォーラムのプログラムは次の通りです。

- 1 日目：開会式、SDGs 見識者による基調講演、鼎談、ワークショップ、各校 SDGs 活動紹介、取り組みの整理
- 2 日目：フィールドワーク（視察）、ワークショップ、SDGs 行動計画立案
- 3 日目：SDGs 行動計画立案まとめ、行動計画策定、発表、共同宣言採択
- 4 日目：振り返り、閉会式



VE 手法を活用したファシリテーションは、株式会社 IHI 技術開発本部 松澤郁夫氏 CVS にご指導いただきました。フォーラムでは、各校の SDGs 活動紹介と現状の取り組みの整理をするのに先立ち、松澤氏から進め方について概要説明をしました。行動計画策定作業中は参加者からの質問への対応とアドバイス、さらに行動計画発表後の講評をしていただきました。

行動計画策定の作業は 2 日間にわたり行われ、各学校に 1 名ずつボランティアの大学生がファシリテーターとして就き、VE の核となる「機能の定義」「機能の整理」「機能系統図作成」といった手法を通じて、現状の取り組みを俯瞰的に捉え、目的と手段の関係を軸に検討を進めていきました。高校生は VE 的思考と意識せずに企画立案に組み込み、それをサポートしたファシリテーターは 1 月に受けた VE 研修会の内容を実践で生かすことができたと喜びの声があがっていました。

VE 手法は工学的な価値改善のアプローチとして産業界に広まりましたが、SDGs のような社会問題に学生が取り組む際にも有効であることが立証できました。

今回の経験を踏まえ、VE の新しい領域への拡大と社会的課題解決の手法として普及展開を進めていきたいと願っています。

(本件担当：事務局 上杉)

